



反復性肩関節脱臼の手術後は、処置した部位の安静を保つため、装具を装着。徐々に可動域訓練を開始、筋力トレーニングを取り入れています。



当科の特色は整形外科疾患の中でも膝・肩・足関節、足部の外科治療およびスポーツ外傷・障害の治療や骨粗鬆症を中心とする骨代謝疾患の治療に精通した医師による専門診療をしています。

病院

シャカイフクシホウジンオンシザイダニサイセイカイシブ
カガワケンサイセイカイビョウイン

社会福祉法人 恩賜 済生会支部
香川県済生会病院

1911年に設立以来「患者さまのために、地域のために、そして職員のために存在する病院」を理念のもと地域に根ざし、高度で安全な専門医療を目指しています。特に、整形外科、消化器（内科・外科）、眼科などの専門領域を強みとし、さまざまな疾病や手術に適切に対応。また、急性期だけでなく瀬戸内海巡回診療船「済生丸」によるへき地医療、無料低額診療など、他の医療機関では代替不可能な地域医療も担っています。

Hospital data

TEL.087-868-1551

高松市多肥上町1331番地1

FAX.087-868-9733

〒200台（無料平面駐車場）

https://www.saiseikai-kagawa.jp/

●診療時間 <受付時間> 月～金曜日8:30～11:30、13:30～16:00

		月	火	水	木	金	土	日・祝
午前	9:00～12:30	○	○	○	○	○	×	×
午後	14:00～17:00	○	○	○	○	○	×	×

※整形外科 受付時間 8:30～11:00

※ただし、診療科によって異なります。

●休診 土曜日、日曜日、祝日、年末年始

●診療科目

・内科 ・消化器内科 ・循環器内科 ・内視鏡内科 ・糖尿病内科
・腎臓内科 ・人工透析内科 ・膠原病 ・リウマチ内科 ・外科
・消化器外科 ・内視鏡外科 ・整形外科 ・小児科 ・皮膚科
・泌尿器科 ・眼科 ・麻酔科 ・リハビリテーション科 ・放射線科

Message



昨年度の手術件数は881件

膝、肩、足関節などの外科治療やスポーツ外傷・障害の治療、骨代謝疾患の治療を専門としています。肩痛や膝痛など運動器に関することでお困りの方は、我慢せず早めにご相談ください。

地域医療連携に
力を入れています



地域の医療機関の先生方と共に医療・保健・福祉の向上を目指し積極的に連携を図っています。

Information

今秋を目指し、スポーツ外傷や障害の治療を専門とする「スポーツ外来」を開設する予定。

繰り返す肩関節脱臼には適切な処置が必要

ドクター インタビュー

反復性肩関節脱臼（はんぶくせいかたかんせつだっきゅう）

患者に寄り添い、医療サービスを提供するドクター。
本特集では反復性肩関節脱臼について語っていただきました。

社会福祉法人 恩賜 済生会支部
香川県済生会病院

よし たけ しん ご
整形外科部長 吉武 新悟 先生

Profile 2009年香川医科大（現香川大学医学部）卒業。坂出市立病院、香川大学医学部附属病院などを経て、2023年3月から現職。

【資格】・医学博士 ・日本整形外科学会認定整形外科専門医・指導医
・日本骨粗鬆症学会認定骨粗鬆症認定医・日本整形外科学会認定スポーツ医



Q & A

反復性肩関節脱臼とはどのような疾患ですか？ どんな症状が出ますか？

関節の中でも脱臼（だっきゅう）しやすいと言われる肩の関節。「接触」を意味するコンタクトスポーツによる衝撃や怪我などの外傷で肩関節が外れ、それが癖になり脱臼を繰り返すようになってしまう状態のことを反復性肩関節脱臼と言います。初回脱臼した時に肩関節内の靱帯（じんたい）がはがれたり伸びたりと損傷することが原因の疾患です。脱臼して痛い場合は、整復（せいふく）してしまった骨を正常な位置に戻す処置（しちし）をすればほとんどの痛みは治まります。

スポーツ中の肩の痛みが気になります。どうしたらよいでしょうか？

スポーツ選手の場合、競技中の接触や衝撃によって、脱臼や外れそうになることは元に戻る亜脱臼（あだつう）を繰り返す可能性があります。過去に脱臼をしたことがある、脱臼しかけたが治ったなど、脱臼の経験がある方は肩に痛みが生じやすくなることがあります。スポーツ中に肩の痛みがなかなか取れない場合は、早めに専門医に相談してください。

治療はどのようなものがありますか？

脱臼した場合は、整復を行います。なぜすぐに整復をしないといけないかというと、脱臼した

まま放置しておくと、神経麻痺（しびれ）が起る可能性があるからです。神経麻痺が起ると、肘（ひじ）から先に力が入らなくなり日常生活に支障（ししょう）が出ます。再脱臼を防ぐために内視鏡手術で靱帯の損傷を修復する治療があります。

手術治療を選択すべきケースや、受けるべきタイミングを教えてください。

反復性肩関節脱臼になると、どのくらいの期間で脱臼を繰り返したか、脱臼をしなくても肩を動かしたときにどれくらい痛みが出るかなど症状をみながら判断します。短期間に何回も脱臼を繰り返す場合は、神経損傷や血管損傷のリスクが高まり、肩の軟骨が痛むことで変形性肩関節症に進展する場合があります。早めの手術をおすすめします。

術後の日常生活の注意点を教えてください。

整復した後は3週間程度の三角巾固定が必要です。その後、肩まわりの筋肉を鍛えるリハビリを行います。スポーツ選手の反復性肩関節脱臼の場合は、手術を要する場合が多いですが、競技復帰まで半年程度のリハビリが必要です。また、初回脱臼の後、日常生活や寝ている間に脱臼してしまう方もいます。脱臼を繰り返す場合は手術をおすすめします。

治療の流れ

step. 1
診察・画像診断

step. 2
投薬
リハビリ
（3～6ヶ月）

step. 3
効果がなければ、手術（神経ブロックのみ、全身麻酔＋神経ブロック）

step. 4
早ければ手術翌日には退院することが可能です。

step. 5
退院後理学療法士によるリハビリで完治を目指します。